

平成30年度「防府市通学路安全推進会議」会議録概要

- 1 開催日時 平成31年2月13日（水） 午後4時00分～午後5時00分
- 2 開催場所 防府市役所1号館3階第南会議室
- 3 出席委員 8人（代理出席：1名、欠席4名）
- 4 概要 （発言要旨の文章表現は、簡略化している。）

（以下「防府市通学路安全推進会議」を「会議」として表示する。）

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 会長：小野中学校 徳本校長、副会長：生活安全課 森田課長 選出
- (3) 議事
以下のとおり

【会長】 「議事1 平成30年度の防府市通学路交通安全プログラムの実施について」事務局より説明をお願いする。

【事務局】 「平成30年度の防府市通学路交通安全プログラムの実施状況について」説明
・資料4に基づき登下校防犯プランの概要を説明
・資料1に基づき、平成30年度の通学路交通安全プログラムの進捗状況、今後の予定を説明

【会長】 説明についての質疑等あればお願いする。

特に無いようなので、続いて、「議事2 平成30年度通学路危険箇所の安全対策実施について」「議事3 防犯の観点による通学路緊急合同点検の実施について」を事務局より説明をお願いする。

【事務局】 「平成成30年度通学路危険箇所の安全対策実施について」説明
（資料2、資料3に基づき、平成30年度合同点検実施箇所について、学校ごとに説明。）

「防犯の観点による通学路緊急合同点検の実施について」説明
（資料5、6に基づき、危険箇所の内容とその対策について説明

説明についての質疑等あればお願いする。

【PTA 委員】 不審者メールについて、関係校区にしかメールが来ない。市内一斉に流れないのか。不審者は、他の校区に早い時間に移動する。他の校区に連絡がいくほうがよい。

【生活安全課長】 市からのメールであれば、エリアを区切って出さない。登録者全員に送付する。

【教育長】 学校から保護者へ送付するメールは、学校の保護者、近隣の学校に送ることもあれば、

学校で止まるケースもある。

学校から教育委員会に連絡があれば、教育委員会は他の学校に連絡するようになっている。

【教育部長】 市のメールは誰でも登録できる。
それ以外のメールについては、今後は広範囲の発信にしたい。

【教育長】 大道小学校は校区が広いので（通学路危険個所が）多い。

【大道小校長】 大道は見守り隊の方たちが多く。見守り隊の方へはメールで連絡している。

【教育長】 小野中学校区で鳥獣はどうだろうか。

【小野中校長
（会長）】 4月にツキノワグマが出たので、注意喚起を行った。

【大道小校長】 停車している不審な車に「危ないからやめてくれないか」と言ってはいけないと聞いたが、どうだろうか。

【警察】 住民がそのような車に注意をするとトラブルになるので、注意するのは警察に任せてほしい。警察官が状況により対応を考える。

昨年、中関地区で包丁を持った人が歩いているという情報が入った。多数の警察官が対応し、見守り活動を実施したが、実は刃物ではなく「火ばさみ」でゴミを拾っていただけであった。光っているから刃物に見えたということ。

朝、通学路で写真を撮られたという通報があり、いろいろ調べてみたところ、結局、仕事に行く前の待ち合わせの待ち時間でスマホを触っていただけで、たまたま通学路の前であったため写真を盗撮されたということ（結果的には勘違い）になった。

夕方に知らない人から「早く帰りなさい」「アブないよ」と善意による防犯的な意味で声をかけられた側からは、「知らない人から声をかけられたら学校や親に言いなさい」となっている。

昨年の子供に対する声掛けや付きまといの年間件数は、18歳以下の対象が約60件、そのうち小学生対象が約30件あった。

その60件が全て怪しいものか、善意によるものか、市や学校など関係機関にどこまで発信するのか難しい。警察としても内容によって危険だと感じるものや広範囲に広がる可能性があるものは関係機関に連絡するようになっているが、これはどうかというものも1件ずつ精査して行っている。気になることがあれば、警察に連絡してもらえばよい。

日常生活で安全安心を与えるのが警察の仕事であり、（情報発信により）不安を与えることとのバランスがむづかしい。

緊急合同点検は、子供を犯罪から守るため、事件が起こらないように防犯を行うこと

が1番の目的。危険箇所以外での声掛けもたくさんある。学校によっては校区の範囲が広く、下校中最後に一人になるとそこは全部危険箇所となる。大人の誰かが子どもについて回れば一番よいのだが、実際にはできないため、ボランティアをできるだけ多く配置できればよいと思う。

犯罪者は見られたくないため、見守る人が多い地区においてはやりにくい。そのような環境づくり、地域づくりができればよいと思う。

【PTA 委員】 農村地域は田んぼだらけ。昔のように地域との連携が密着していればよいが、現在は連携が疎になっている。

また、見守り隊の方への保護者の感謝が薄い。

【小野中校長
(会長)】 学校においては、危険に遭遇した時にどうするのかという対応能力をつけていかなければと思う。

【PTA 委員】 昨年、西浦にサルが出たが、どこに連絡してよいか分からなかった。

【教育長】 学校に連絡が入れば、学校から警察に連絡する。児童生徒には、大きい声を出さないように、又目を合わさないように指導する。

【教育長】 今年度の子どもの登下校時の交通事故について、救急搬送されたものが11件ある。内訳は登校中4件、下校中4件、部活動移動中3件となっている。骨折が2件あるが命に別状があるような大きい事故には至っていない。また、家に帰ってからの私用自転車等による救急搬送は27件となっている。その都度学校で指導し、見守り隊にも情報提供し、お願いしている。

【PTA 委員】 逆に加害者になった事故はあるか。

【教育長】 今のところない。以前いたところ（防府市以外）では、自転車運転中にランニング中の方に接触した例がある。子どもたちには自転車保険に入るよう指導を行っている。

(4) 学校教育課長より閉会の挨拶